

★連載小説★

満天の星、一粒の涙【第四話】夏色のペットボトル～同窓会～

作家で恋愛カウンセラーの安藤房子さんによる、読むだけで恋愛上手になれるカウンセリング小説の第四話。

今回のテーマは、同窓会で久しぶりに再会した男友達との恋のお話です。

「それでもミキは、ちつとも変わらないなあ。
相変わらずカワイイじゃん」

ノボルは、三杯目のビールを飲みながらそう
言って笑った。Tシャツにジーンズ。裕福な家に
育ったのに、相変わらず、気取りのない服装。そ
してリラックスした話し方だ。

「そういうノボルも全然変わらないじゃん?」
「そういう言いながら、ミキは心の中で「やった！」
と思つた。「純情タイプ」と言われていた高校
時代をイメージして、白いワンピースを着てき
てよかつた。マイクは、もちろんチユラルマイク。
今も地元で暮らすノボルから、派手になったと
思われたくなくて、あえてそうしたのだ。普段、
キバクラで働いていたときには、絶対にしない
マイクだ。

今日は、高校の同窓会。親友のユイから「ノ
ボルも来る」と聞いていたから、絶対に来よう
と思っていたのだ。ちょうど、勤め先のキバクラ
でも夏休みだし。久しぶりに実家の両親とも
会いたかったから。昨夜の飛行機で、飛んでき
たのだ。

小さな居酒屋を貸切にして、集まつた同窓生
は30人ほど。ユイ以外の人と会うのは高校卒

業以来だつた。ミキは、地元に残るノボルを想い
ながらも、映画を作る仕事がしたくて上京し
たが、その夢は挫折してしまつた。それ以来、
みんなと会うのを避けているのだ。親友のユイ
にだって、仕事の話はしていなかつた。だけど今
回はどうしてもノボルに会ひたかった。東京の
街で、ノボルの気持ちが日に日にふくらんで
いたから……。

同じテーブルには、ノボルやユイをはじめ、あ
の頃、よく遊んでいたメンバーたちがそろつた。
「ミキは今、東京で何やってんの?」
「うーん。それは内緒かな」

ノボルの言葉をはぐらかしながら、ミキは少
し後ろめた氣持ちになつた。夜の仕事が悪い
とは思わないけど、まじめなタイプのノボルが
知つたら、嫌われてしまうかもしれない。たと
え、父が病氣で倒れ、その治療費を仕送りす
るためだとしても。

ノボルとは、サッカー部のキヤブテンとマニー
ジャーという関係でもあつた。飾りつ氣がなく、
大雑把で、人の二倍くらいガツガツ食べるあつけ
らかんとした彼を、ずっと好きだつた。だけどミ
キは、一度も自分の気持ちを打ち明けたことが

ない。彼にぶられてしまつたら、友達ですらいら
れないくなるから。

同窓会では、昔話で盛り上がつた。ノボルが
よく授業中に居眠りしていたこと、ユイが失恋
するたびに仲間たちを呼び出しては泣いてい
たこと、ミキが文化祭で焼いたクッキーが真つ
黒こげになつてしまつたこと……。あの頃に戻つ
たかのようだつた。

翌日、夕飯の支度をする母を手伝つていると
き、ノボルからメールが来た。

「今から会わない? 話したいことがあるんだ」
帰省中にもう一度ノボルに会いたいと思って
いたけれど、彼から誘つてもらえるなんぞ。ミキ
は、友達と会つてると母に言ひ残すと、ドキ
ドキしながら、指定されたファミレスの駐車場
に向かつた。

駐車場に着くと、ノボルが車にもたれな
がら待つてゐる。手には、ペットボトルがふたつ。
あの頃、毎日飲んでいたのと同じスポーツドリ
ンクだ。

「今もそれ、好きなんだ?」
「おう。俺は、これがないと生きていけないの
よ。特に夏はね。ミキも、ほら?」

そういうて、まだ開いていないほうのペットボ
トルを放つてよこした。

「連れて行きたいところがあるんだよ」

「高校。去年卒業して直した校舎、見に行かない?」

「高校があ。うーん、もつと違うところがいいなあ」

「せつかくノボルと二人なんだから、もつと大
人っぽい場所に行きたかったのだ。

「わかつた。じゃあ、とつておきの場所に連れてつ
てやるよ」



「そうだなあ。それしかないもんなあ」
窓越しの空、いつのまにか、雨が降り始めて
いる。さつきまでのきらきらした星は、もう、ぱ
んやりとしか見えなくなつてゐた。

「今日の恋愛アドバイス」

※1 一日ワンピースというの、は再会するときのファッショントレンドとして悪い選択ではありません。たゞ、「あの頃より大人びたお洒落な服」をテーマに選ぶほうが、さらには好感度がアップします。

※2 メイクよりも、新しい自分を演じ出すほうが、男性には新鮮に映り、魅力的に見えるのです。きちんとメイクするほうが男性に好かれますし、自分に自信が持てます。また、共通の思い出の場所でデートすると、恋愛感情が燃え上がりやすくなります。

※3 このかのタイミングでどちらかが近づいていかないと、恋は始まりません。二人の時間を過ごすようになつたら告白のタイミングです。

※4 ここでは、ノボルの提案通りのデートをするべきでした。共通の思い出の場所でデートすると、恋愛感情が燃え上がりやすくなります。

※5 彼が恋のデートに誘つたといつこども、まだ結婚していないと、恋は始まりません。二人の時間を過ごすようになつたら告白のタイミングです。

※6 これがノボルの気持ちは尊重する、心の優しい女性です。それが彼女の魅力でもあるのですが、ノボルも恋愛には控え目なタイプであるため、恋が成就するチャンスを幾つも逃してしまいます。

※7 ノボルのような控え目なタイプは、好きにならときには少し積極的な説得はうが、うまくいきやすいくらいません。好みの人と友達以上の関係にならざつたらいで、トト諭したり告白したりしてみましょう。

HEARTをケア。



恋愛、結婚、仕事のトラブル…。
ひとりで悩んでいると
めげちゃってありますよね?
そんなときはメール・カウンセリング。
きっと力になれるはずです。

*メール・カウンセリング 1回2000円。

*じっくり相談できる3回コース5000円もあります。

*電話でのカウンセリングも行なっています。

*くわしくはメールまたは電話でお問い合わせください。

<http://www.heart-junction.com> TEL. 045-974-2580

ボディにCURE!



顔、ボディスタイル…。
女のこなだれだって、
もっと自分に自信を持ちたい!
からだ本来のキレイと元気をひきだして
あなたの恋を応援します。

CURE+ キュア整体ルーム

*料金=初回6000円/2回目以降4500円

*体質と目的に応じたオーダーメイドの施術です。

*冷え性・むくみなど体質改善もおまかせください。

<http://www.cure-seitai.com>

TEL. 03-5485-0211

受付時間10:00~20:00/日曜定休



作家・恋愛カウンセラー。恋愛サイト“[HeartJunction.com](http://www.heart-junction.com)”主宰。講演、テレビ、ラジオ、雑誌でも幅広く活動中。著書は『恋に効く魔法の言葉』三部作(九天社)など。